

第29回
釜山国際映画祭
ワイド・アングル部門
ドキュメンタリー・コンペティション
正式出品

第37回
東京国際映画祭
Nippon Cinema Now部門
公式出品

AINU PURI

アイヌプリ

今を生きる、ある親子の物語

監督：福永壮志

プロデューサー：エリック・ニアリ 福永壮志 撮影：エリック・シライ

録音：川上拓也 整音：チェ・ソンロク カラーリスト：佐藤文郎 編集：出口景子 川上拓也 音楽：OKI

配給：NAKACHIKA PICTURES 2024 / カラー / DCP / 5.1ch / 81分 ©2024 Takeshi Fukunaga / AINU PURI Production Committee

荘厳な大地で紡がれる等身大のドキュメンタリー 12.14

国際映画祭で、その真摯な眼差しに注目が集まる

福永壮志が映し出す 「等身大のドキュメンタリー」

第29回
釜山国際映画祭
ワイド・アングル部門
ドキュメンタリー・コンペティション
正式出品

第37回
東京国際映画祭
Nippon Cinema Now部門
公式出品

人気マンガの実写化など、その歴史や文化への関心が高まるアイヌ。本作は、北海道・白糠町で伝統的なマレブ漁（鮭漁）をはじめとしたアイヌ文化を継承し、日常の中で“アイヌプリ”（アイヌ式）を実践する人々を追ったドキュメンタリー。

監督は、『山女』（23）でTAMA映画祭最優秀新進監督賞を受賞、『SHOGUN 将軍』（ディズニープラス）でも監督を務めるなど、国内外で高い評価を受けてきた福永壮志。『アイヌモシリ』（20）では、北海道・阿寒湖のアイヌコタンで暮らす少年の成長を通して、現代のアイヌ民族のリアルな姿を描き、2020年トライベッカ映画祭の審査員特別賞を受賞した。そして本作『アイヌプリ』では、北海道・白糠町で生きるアイヌの家族に密着し、祖先から続くマレブ漁の技法や文化、信仰等を次世代に伝えていく等身大の姿を映し出し、自らのルーツを大事にしながら今を生きる彼らの姿に迫る。第29回釜山国際映画祭、第37回東京国際映画祭でも、その真摯な眼差しに絶賛の声が集まった。



今を生きる、ある親子の物語

北海道・白糠町で生きる天内重樹（シゲ）。現代人としての日々を過ごしながらも、彼のやり方でアイヌプリ（アイヌ式）を実践し、祖先から続くマレブ漁の技法や文化を息子の基樹に伝えている。シゲとその家族の日常を追い、自らのルーツを大事にしながら今を生きる彼らの姿に迫る、等身大の家族の物語。

監督：福永壮志

プロデューサー：エリック・ニアリ 福永壮志 撮影：エリック・シライ

録音：川上拓也 整音：チェ・ソンロク カラリスト：佐藤文郎 編集：出口景子 川上拓也 音楽：OKI

配給：NAKACHIKA PICTURES 2024/カラー/DCP/5.1ch/81分

©2024 Takeshi Fukunaga/AINU PURI Production Committee

